

輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上~川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合 砺波支所 業務課主任 鳩澤 克彦さん

富山県西部森林組合の砺波支所の職員としてお勤めの鳩澤克彦さん（40才）をご紹介します。



ばんざわ かつひこ
鳩澤 克彦さん

1 現在の職場に勤務するきっかけ

関西の大学を卒業後、大阪でアパレル販売員や美容機械関係商社の営業に10年程勤務していました。結婚を機に、地元南砺市に本所を置く富山県西部森林組合へ転職し、Uターンを果たしました。

もともと生まれ育った土地が好きだったこともあり、Uターン後のキャリアチェンジでは地域に密着した職に就きたかったとのこと。ネット検索で見つけたのが富山県西部森林組合でした。それまでのファッショングや美容といったオシャレな業界とは全く異なる業界でしたが、軽登山が趣味

だったものもあってとても興味がわき、まずは候補となりました。

ハローワークなども通じて情報を収集する中で、小中学校の同級生が富山県西部森林組合に勤務していることが判明。実際に働く知人に、仕事内容を直接教えてもらつたことが決定打になりました。県西部の広域を対象とした森林整備のほか、五箇山の合掌造りの屋根の葺き替え、もりもりハウスでの特用林産の販売、オガ粉の製造など、多角的かつ「地域ならでは」の経営を行っていることに強い魅力を感じたそうです。

2 現在の業務

主な業務は南砺市旧福光町の岩木地区のプランナー業務です。様々な国・県・市の補助事業を組み合わせ、効率的に地域に喜ばれる森林整備を立案し、実行に移す仕事を受けます。この仕事に携わると、よく所有者の方から山に関する困りごとなどの相談を受けるのですが、それらを解決できたとき、とてもやりがいを感じるそうです。

また、砺波支所が素材生産したスギ原木などを地元の製材事業所に直送する際の調整も担当されています。これは製材会社から希望する原木の量や規格、納期などを聞

き取りし、どの現場からいつ出荷するか決めていく仕事です。当初は製材についての専門用語が分からず、理解するまでに苦労したそうです。しかし、取引先の方々にも積極的に質問することを繰り返し、少しずつ理解を深めていったそうです。まだまだ勉強が必要だと感じる日々のこと。

3 仕事への思い

今の仕事では「利潤一辺倒ではなく公益的な要素も大切。森林・林業を通して地域に貢献したい。」と語る鳩澤さん。ぜひ営業職の経験も活かし、より地元に喜ばれる仕事を続けていただきたいものです。

今後、ますますご活躍されることを期待しています。



原木を検収する鳩澤さん